

はじめに（趣旨）

○県営スポーツ施設全体の規模や配置、機能等の適正化を図るため、有識者の意見を聞きながら、人口減少に伴う利用状況の変化、中期的なコストの見通し等を考慮し、県営スポーツ施設の今後のあり方を検討し、報告書に取りまとめたもの。

第1章 スポーツ施設の現状

1 県営スポーツ施設の状況

(1) 現有の施設（9施設）※設置順

施設名	設置時期	所在地
① 岩手県営運動公園	S41(1966). 6	盛岡市みたけ
陸上競技場、補助競技場	S41(1966). 6	
テニスコート	S42(1967). 7	
サッカー・ラグビー場	S43(1968). 10	
野球場	S44(1969). 3	
スポーツクライミング競技場	H10(1998). 3	
② 岩手県営体育館	S42(1967). 6	盛岡市青山
③ 岩手県営スケート場	S47(1972). 11	盛岡市みたけ
④ 岩手県勤労身体障がい者体育館	S52(1977). 3	盛岡市青山
⑤ 岩手県立御所湖広域公園艇庫	S58(1983). 9	盛岡市繫
⑥ 岩手県営スキージャンプ場	S60(1985). 12	八幡平市矢神
⑦ 岩手県営武道館	S61(1986). 9	盛岡市みたけ
弓道場、相撲場	S61(1986). 9	
大道場、柔道場、剣道場	H 2 (1990). 2	
⑧ 岩手県営屋内温水プール	H 5 (1993). 12	雫石町長山
⑨ いわて盛岡ボールパーク	R 5 (2023). 4	盛岡市永井

(2) 大震災の影響により整備計画凍結中の施設（2施設）  
スポーツ健康科学センター、多目的屋内練習施設

2 県内公立スポーツ施設の状況 合計1,105施設（R4.4.1現在）

第2章 スポーツを取り巻く環境

- 1 国の第3期スポーツ基本計画（R4～R8）の策定
- 2 県内での大規模大会の開催や本県出身アスリートの活躍
- 3 新型コロナウイルス感染症の影響

第3章 県におけるスポーツ振興の基本方針

（第2期岩手県スポーツ推進計画（2024～2028））

【目指す姿】

スポーツの推進による県民誰もが健やかで輝く岩手の創造

【施策の基本的な方向】

- 1 ライフステージに応じて楽しむ生涯スポーツの推進
- 2 共生社会型スポーツの推進
- 3 国際的に活躍する競技スポーツの推進
- 4 地域を活性化させるスポーツの推進

第4章 県営スポーツ施設に関する課題

- 1 施設・設備の著しい老朽化  
・経年とともに施設・設備の老朽化が顕著であり、将来にわたって長く使い続けるためには、大規模な改修等の検討が必要
- 2 市町村との連携や役割分担  
・中核的スポーツ施設は、市町村を含めた県全体で担っていくよう、県・市町村の連携や役割分担の検討も必要
- 3 将来人口の展望を踏まえた整理・統合  
・利用状況や人口減少等による施設利用需要の変化等を見据え、老朽化した施設の整理・統合等による施設規模・総量等の適正化が必要

第5章 県営スポーツ施設に係る基本的考え方

県内施設の充実という現状や、地方自治法による県と市町村の基本的な役割分担（市町村優先の原則、補完性の原理・近接性の原理）を踏まえ、県の役割として、次の考え方に基つき、県営スポーツ施設の維持・改修等に努めることが望ましい。

- 1 県民がスポーツに親しむ環境の確保
- 2 競技力の向上を担う施設の整備
- 3 全国規模の競技会等を開催できる施設の確保
- 4 将来人口の展望や県財政を踏まえた施設マネジメントの推進

第6章 県営スポーツ施設の今後のあり方

1 現有施設（いわて盛岡ボールパークを除く8施設）

施設		今後のあり方及び当面の措置
① 県営運動公園	陸上競技場、補助競技場	○東北規模又は県規模の競技会等の会場確保の観点から、適時、改修等を行い、第2種公認陸上競技場として <b>長期的に維持</b> ○できるだけ早期にスタンドの劣化度調査等を実施し、その結果を踏まえ改修を検討
	テニスコート	○他施設で全国規模の競技会等が開催されているものの、県規模の競技会等の会場として利用されており、同等（8面）以上のテニスコートは県内に限られていることから、適時、改修等を行い、 <b>現状維持</b>
	サッカー・ラグビー場	○ <b>第1グラウンド（人工芝）</b> は、全国規模の競技会等の会場の一つとしての利用があり、全国規模の競技会等の会場確保の観点から、適時、改修等を行い、 <b>長期的に維持</b> ○ <b>第2グラウンド（クレーコート）</b> は、計画凍結されたスポーツ健康科学センター等の建設予定地ではあったが、一定の需要があることから、 <b>現状維持</b> 。なお、スポーツ医・科学センター整備の検討状況に応じ、人工芝化など機能を高めるための改修を検討
	野球場	○一定の需要はあるものの、同等以上の機能を備えた施設が県内にあり、市町村との役割分担を踏まえると、 <b>県営施設として現在の施設水準を維持する必要性は高くない</b> ことから、 <b>将来は、野球場としての機能を廃止し、公園全体のレイアウトも考慮しながら、機能性や利便性を一層向上させるための他の用途を検討</b>
	スポーツクライミング競技場	○国際規模の競技会等の会場確保の観点から、適時、改修等を行い、 <b>長期的に維持</b> ○利便性向上のため、雨天対応等の改修を検討
② 県営体育館	○一定の需要はあるものの、県営よりも充実した機能を備えた市町村施設が複数あり、 <b>担う役割や今後の市町村施設の改修状況等を踏まえた検討が必要</b> ○長期的に維持する場合、バリアフリー化や空調等の機能性が不十分であることから、同様の機能を有する④ <b>県勤労身体障がい者体育館と集約した高機能の体育館整備を検討</b>	
③ 県営スケート場	○400mのスピードリンクを有する県内唯一の施設であり、アスリート育成や競技力向上の観点から、適時、改修等を行い、 <b>長期的に維持</b> ○できるだけ早期のターボ冷凍機等の修繕・更新が必要	
④ 県勤労身体障がい者体育館	○障がい者スポーツ振興のため必要性は認められるものの、障がい者以外の利用が多いことを考慮すると、② <b>県営体育館と集約した高機能の体育館整備を検討</b> ○体育館整備の検討においても、障がい者の優先利用などに配慮	
⑤ 県立御所湖広域公園艇庫	○全国規模の競技会等の会場確保の観点から、適時、改修等を行い、 <b>長期的に維持</b>	
⑥ 県営スキージャンプ場	○県内唯一のサマージャンプ場であり、アスリート育成や競技力向上の観点から、適時、改修等を行い、 <b>長期的に維持</b> ○できるだけ早期の人工芝改修が必要	
⑦ 県営武道館	○全国規模の競技会等の会場確保の観点から、適時、改修等を行い、 <b>長期的に維持</b> ○できるだけ早期の冷暖房設備及びLED照明設備の整備が必要	
⑧ 県営屋内温水プール	○一定の需要はあるものの、大会利用も限定的であり、 <b>県営施設として維持する必要性は高くない</b> ことから、民間や地元自治体における <b>活用を検討し、活用見込みがない場合は、廃止を検討</b>	

2 整備計画凍結中の施設（2施設）

施設		今後のあり方及び当面の措置
① スポーツ医・科学センター	○ <b>競技力向上の観点からスポーツ医・科学の拠点として整備することが望ましく</b> 、県民の健康づくりの機能も持つ拠点として検討 ○県営体育館と県勤労身体障がい者体育館の集約など <b>他の施設との併設と併せて整備を検討</b>	
② 多目的屋内練習施設	○いわて盛岡ボールパークの屋内練習場など類似施設があり、 <b>新たに整備する必要性を十分に検討</b>	